

北の鉄路を守るオール北海道の声を 2・14 緊急集会に50人

知事選挙予定候補・石川ともひろさんも参加

2月14日、北の鉄路存続を求める会が呼びかけて、「オール北海道の声で鉄路存続へー北海道の未来と鉄路を考える緊急集会」が開かれ、道内各地で運動にとりくんでいる住民の会などから50人が参加しました。集会には、北海道知事選挙に立候補予定の石川ともひろさんもかけつけ「知事が先頭に立って国の支援を求めているかなければならない。いま踏みとどまって鉄路を残すことを検討すべきだ」とあいさつしました。「JR北海道研究会」の奥田仁さん（北海学園大学名誉教授）、「日高線守る会」の真壁悦夫さん、道議会議員の真下紀子さん（共産党）、「北の鉄路存続を求める会」の小室正範事務局長が報告し、フロアからも次々に発言があり、JR北海道・道・国が沿線自治体などに路線の廃止を迫ってきていることに抗議し運動を強める決意が示されました。この集会に、深川市長・留萌市長・浦河町長などからメッセージ・見解が寄せられました。

北海道鉄道本部が春闘要求書提出 基本給月額36,000円引き上げ

職場要求43項目、安全とサービス向上の5項目なども

北海道鉄道本部は2月14日、JR北海道に春闘要求書を提出しました。要求書では「基本給月額36,000円引き上げ」をはじめ、高卒初任給17万円（関連企業内の最低賃金に）、諸手当の引き上げ・新設、50歳以上の賃金改善、65歳定年と退職給付の改善、職場要求43項目、雇用延長制度及び非正規労働者の処遇改善、安全とサービス向上に向けた要求5項目をあげています。

各職場組織の春闘要求書のコピーを道本部に送ってください

北海道建設アスベスト第2陣訴訟口頭弁論

2月14日、札幌地裁で「北海道建設アスベスト第2陣訴訟」の第21回口頭弁論が開かれました。この日は、弁護団事務局長の長野順一弁護士が、昨年8月と9月に出された大阪高裁の関西アスベスト訴訟判決（京都ルート・大阪ルート）の内容や意義について意見を述べました。2つの判決では国の責任とともに被告企業の責任を認めたことを高く評価しつつ、不十分な点も指摘して札幌地裁が早期に被害にふさわしい判断をするよう求めました。次回期日（5月9日）の次の期日が7月4日になりました。

報告集会では、北海道の1陣（札幌高裁）・2陣とも来年3月までに判決が出される可能性があり、「今年5月に結審予定の九州（福岡高裁）とともに勝って、最高裁で勝利判決をかちとろう」と決意が述べられました。